

Code Orange

第61号

大規模地震時医療活動訓練～住吉区大領小学校避難所～ 2017年7月29日

大規模地震時医療活動訓練における避難所訓練が住吉区大領小学校にて行われました。今回の避難所訓練には、当センターDMATが訓練企画の段階から参加しており、当日もコントローラーとして参加しました。大規模地震時医療活動訓練との連携の為、同じ発災二日目を想定としました。大領小学校からの情報が住吉区災害対策本部に全く入ってきていないという設定から訓練が開始され住吉区保健師による避難所スクリーニングが行われました。医療ニーズがあると判断されると、避難所→住吉区災害対策本部→大阪市災害対策本部→大阪府災害対策本部の順で医療班の要請が行われます。その後、医療救護班等が派遣され、避難者役の方々に診察や、各種団体の体験を受けていただきました「全日本病院協会災害時医療支援活動班（AMAT）による診察」「薬事トリアージ/大阪府薬剤師会」「弾性ストッキング体験」「ラップポン使用体験」「ダンボールベッド体験」「避難所における栄養管理」「避難所子供新聞作成」「物資受援訓練」など、どの内容も長期化する避難所生活において欠かせない内容ばかりでした。地域住民と各団体との連携訓練は、まだまだ少ない現状にあり、地域住民においても、また各団体においても、今回の訓練は非常に関心の高い訓練となりました。今後も地域との連携を深めていきたいと思っております。訓練にあたりご尽力いただいた、大阪府職員の方々、大阪市職員の方々、住吉区職員の方々ならびに住吉区住民の方々、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



大規模地震時医療活動訓練～大阪市南部・西部医療圏DMAT活動拠点本部病院～2017年7月29日

平成29年度大規模地震時医療活動訓練が実施されました。今回は前日の7月28日正午（午前12時）に和歌山県南方沖を震源地として、最大震度7

（M9.1）の南海トラフ沖地震を想定とした訓練を行いました。センターは発災当日に大阪市南部・西部を担当医療圏としたDMAT活動拠点本部として活動を行いました。大阪府災害医療本部内のDMAT調整本部のもと、院内DMAT隊員5名で本部立ち上げを行い活動を開始しました。支援DMATには災害拠点病院の拠点化や近隣病院への支援、当センターへの診療支援、DMATCar、福祉タクシーなどによる患者搬送を行っていただきました。活動拠点本部には、全国から25チーム、120人近いDMATが派遣されてきました。これほどまでのDMATを受援する訓練の機会はほとんどなく、気付くことも多く大変よい経験をさせて頂きました。今回の経験を今後につなげていきたいと思っております。

